

ふくしの杜ほんじょうプラン 21

(第2期本庄市地域福祉計画・第2期本庄市地域福祉活動計画)

進捗管理シート（令和元年度取組状況）

社会福祉法人本庄市社会福祉協議会

「ふくしの杜ほんじょうプラン21」の進捗管理について

本市における福祉行政計画の上位計画として、平成31年4月に「ふくしの杜ほんじょうプラン21（第2期本庄市地域福祉計画・第2期本庄市地域福祉活動計画）」（計画期間：平成31年度～令和5年度までの5年間）を策定しました。

本計画は、本庄の地で、市民が、「ふくし＝ふだんのくらしのしあわせ」を実感できるよう、市全体が将来にわたり持続可能に発展していく姿を目指しています。

計画に基づく地域福祉の取組を効率的かつ継続的に推進していくために、以下のとおり、進捗管理方法を定め、事業の実施状況等について点検評価や、課題等の整理を行っていきます。

◇進捗管理の目的◇

進捗管理を毎年度行うことにより、プラン21の取組を着実に進めるとともに、課題の解決等に関して、局内横断的な協力体制を築きます。また、市と本庄市社会福祉協議会との共通認識を図り、地域福祉推進の理念・方向性を一体にしていきます。

◇進捗管理シートについて◇

以下の項目に関して、事業の各担当係において、進捗管理シートにより報告を行います。

- ① プラン21に基づく年度内の取組状況（具体的な取組内容、事業展開に対する成果）
- ② 取組内容の評価（取組スケジュール・指標目標に対する進捗状況）
- ③ 課題や今後の方針

◇評価方法について◇

進捗状況の評価については、年度内の取組に関して、下記の4段階に基づき、まずは事業の担当係が自己評価を行います。その後、本庄市地域福祉活動計画社協内ワーキンググループが各事業の取組内容及び成果等を検証し、評価の査定を行います。

A 達成	計画通り進め、年度目標を達成した。
B 未達成	計画に沿って進めているが、年度目標を達成できなかった。
C 検討中	計画に沿って進める中で、課題が多く、進捗が遅れている。
D 中止	計画進めていく中で、実行が困難と判明したため、取組を中止した。

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

頁	重点的取組	担当係
1	①相談支援機能の強化と相談体制の整備	庶務係
2		地域福祉係
3	②個別相談窓口の再構築	社会福祉係
4	③ボランティアセンターにおける個別ニーズ対応の拡充	地域福祉係
5	①福祉窓口としての周知と利用の促進	社会福祉係
6	②地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり	地域福祉係
7		庶務係
8	③サービス利用につながりにくい人への支援の検討	地域福祉係
9	①生活困窮者等への支援事業の実施	社会福祉係
10	②相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
11		地域福祉係
12	③有償家事援助サービス事業の拡充	地域福祉係
13	①福祉サービス利用援助事業の推進	社会福祉係
14	②法人成年後見事業の実施	社会福祉係
15	③権利擁護人材の発掘・育成	社会福祉係
16	④成年後見制度の普及啓発	社会福祉係
17	⑤制度の狭間の人への支援	社会福祉係
18	①相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
19		地域福祉係
20	②更生保護団体との連携	社会福祉係
21	③更生保護運動への協力	社会福祉係
22	①災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備	地域福祉係
23		地域福祉係
24	②災害ボランティアの養成	地域福祉係
25	③被災者支援のための相談支援体制の整備	地域福祉係
26	①障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催	地域福祉係
27		庶務係
28	②学校等と連携した福祉教育の充実	地域福祉係
29	③地域共生社会の実現に向けた意識の醸成	地域福祉係
30	①有償家事援助サービス事業の拡充（再掲）	地域福祉係
31	②移動支援を行う団体への育成・支援の検討	地域福祉係
32	①住居に関する相談への対応	社会福祉係
33	②空き家の福祉的利用の促進	地域福祉係

基本戦略2 人と人とのつながりづくり

頁	重点的取組	担当係
34	①相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
35		地域福祉係
36	②小地域における住民の福祉活動の組織と活動拠点の整備	地域福祉係
37	③当事者組織の支援	地域福祉係
38	④福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討	社会福祉係
39	⑤サロン活動の推進	地域福祉係
40	①多職種連携の推進	社会福祉係
41	②社会福祉法人相互の連携体制づくり	社会福祉係
42	③職能団体等の組織化支援の検討	地域福祉係

基本戦略3 地域で共に生きるための人づくり

頁	重点的取組	担当係
43	①学校等と連携した福祉教育の充実（再掲）	地域福祉係
44	②学生の福祉意識の醸成に向けた取り組み	地域福祉係
45	③福祉教育ボランティアの育成	地域福祉係
46	①多様なニーズに対応したボランティアの育成	地域福祉係
47	②ボランティアコーディネート機能の充実	地域福祉係
48	③地域における福祉人材の発掘・育成	地域福祉係
49	①民生委員・児童委員等支援関係者の支援	地域福祉係
50	②多職種連携の推進（再掲）	社会福祉係

基本戦略4 計画推進体制の発展・強化

頁	重点的取組	担当係
51	①業務・財務分析や事務局の体制強化	庶務係
52	②相談支援機能の強化と相談体制の整備（再掲）	庶務係
53		地域福祉係
54	③社会福祉協議会の認知度の向上	庶務係
55	④社協会員の増強	社会福祉係
56	①会費、寄附金の確保	社会福祉係
57	②事業の透明化	庶務係
58	③寄附意識の醸成	庶務係
59	④基金の適正活用	庶務係
60	⑤共同募金運動の推進	社会福祉係

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）				
	概要				
	市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
埼玉県社会福祉協議会の専門職研修に参加する他に、組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、中堅以上向け研修を実施し、組織内研修の充実を図りました。		組織内研修を実施することで、相談を受ける上での基礎的事項が改めて確認でき、信頼の向上と組織の発展の双方に有効な取り組みを図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるため、OJTを導入し、即戦力として十分に能力を発揮できる職員の育成に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）				
	概要				
	日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSWを配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSWは個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	調査研究・CSWの暫定的な配置			CSWの配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置はできませんでした。今後の配置に向けて、県社協が主催する養成研修等に参加しました。また、市民からの相談に応じる中で、市や地域包括支援センター等専門機関等と連携しながら、必要なサービスにつなぐ等の支援を行いました。そのほか、サロンや子ども食堂設置支援等を通じて、地域の社会資源のネットワーク化に取り組みました。		市民の生活場面に寄り添うことや、地域における活動の組織化支援を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークに関する研鑽を積むことができました。
自己評価	今後の方針	
B	担当業務を通じて、市民の生活場面に寄り添いながら、職員それぞれが個別支援・地域支援におけるソーシャル・ワーク・スキルの向上に取り組み、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	個別相談窓口の再構築				
	概要				
	「心配ごと相談」「結婚相談」等、社協が開設する個別相談窓口について、市民の利用しやすさ等を考慮して、相談員や関係機関と協議しながら、見直し・再構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究（相談窓口の検証・関係者との協議）			相談窓口の見直し	
指標目標 ※年度初めに設定	相談体制の検討	相談体制の検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
結婚相談は第1水曜日及び奇数月の第3日曜日に開設し、主任相談員及び相談員の4名を委嘱し多くの相談を受けました。 心配ごと相談は、市からの受託により、本庄会場、児玉会場で開設し、仕事、家族、金銭の悩みなどの相談を民生委員・児童委員が二人一組で相談を受けました。 成年後見相談は、市からの受託により、専門職アドバイザー、相談員2名で相談を受けました。	結婚相談は男性118名、女性47名が来所しました。 心配ごと相談は年間62件（本庄会場51件、児玉会場11件）の相談を受けました。 成年後見相談は年間5件の相談を受けました。

自己評価	今後の方針
A	令和2年度については、心配ごと相談は相談実績（会場ごとの相談件数）を考慮し、相談日等の相談体制を見直していきます。 成年後見相談についても昨年度の実績を考慮し、関係者機関と協議しながら、受付方法や相談員等の体制を見直していきます。 今後も引き続き相談体制の検討に努め、包括的な相談支援体制の構築を目指します。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	① 包括的な相談支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	ボランティアセンターにおける個別ニーズ対応の拡充				
	概要				
社協に併設されるボランティアセンターにおいて、個別ニーズに対してマッチング機能を充実します。ちょっとした困りごとから日常生活上のサポートまで、幅広いボランティアによる支え合いを促進します。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究	個別ニーズ対応の拡充			
指標目標 ※年度初めに設定	個別ニーズの把握	ホームページを活用した情報発信			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
ボランティアコーディネート業務を行う中で、個別的なニーズの傾向把握等に努めました。また、地域ケア個別会議等に参加して個別ニーズの状況把握に努めました。		個別ニーズの傾向として、傾聴等コミュニケーションに関するニーズが増加していることや専門職からの依頼が多いことが分かりました。外国籍の人への通訳や個人宅への傾聴の依頼については、ボランティアの不足によりマッチング率は50%ほどでした。
自己評価	今後の方針	
A	個別ニーズに対応できる体制を整えるため、ホームページやその他の媒体を活用しながら、専門職・関係機関等にボランティアセンターの機能周知を行い、登録ボランティアの拡充を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	福祉窓口としての周知と利用の促進				
	概要				
	社協は、地域の福祉相談チャンネルの一つとして市民に利用を呼びかけるとともに、利用しやすい窓口の運営に努めます。住民の悩みや不安を受け止めて、適切な窓口やサービスにつないだり、問題点等を整理しながら一緒に解決方法を探ります。また、民生委員・児童委員や地域の福祉実践者の相談窓口としての機能を果たしながら、地域課題の解決に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉窓口としての利用の促進				
指標目標 ※年度初めに設定	市広報（年12回）、社協だより（年4回）やホームページの活用	市広報（年12回）、社協だより（年4回）やホームページの活用			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
市広報、社協だより、ホームページで利用促進を行いました。心配ごと相談、結婚相談、成年後見相談、介護の悩み相談、自立相談支援窓口業務、本庄西地域包括支援センター本庄市社会福祉協議会業務等を通して、地域における福祉相談窓口を開設をしました。	市広報：年12回、社協だより：年4回、ホームページで周知し、次の相談実績となりました。 心配ごと相談：62件、結婚相談：男性118名、女性47名、成年後見相談：5件、介護の悩み相談：13件、自立相談支援窓口：319件
自己評価	今後の方針
A	成年後見相談、自立相談支援窓口業務等、潜在的に利用が必要と思われる方に対して、市広報、社協だより、ホームページにより利用促進を行っていきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり（1）				
	概要				
	地域における情報提供の拠点として、公民館や福祉施設、病院等に「ふくしPRコーナー」の設置を呼びかけます。また、各自治会の掲示板等に様々な福祉情報の掲示について協力を呼びかけて、地域一丸となったPR体制の構築を目指します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	「ふくしPRコーナー」の設置の呼びかけ				
指標目標 ※年度初めに設定	ふくしPRコーナーの設置 （15か所）	ふくしPRコーナーの設置 （20か所）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市民のみなさまに福祉情報を提供するためのツールとして、市内施設や病院等24か所に「ふくしPRコーナー」として、カタログスタンドまたはコルクボードを設置していただくよう呼びかけ、15か所に設置協力いただきました。		市内15か所（6病院・6施設・3商店）にPRコーナーを設置していただき、情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示に協力いただきました。
自己評価	今後の方針	
A	市内の人が集まる場所に「ふくしPRコーナー」の設置を働きかけ、より多くの市民のみなさまに福祉情報が届くように、計画的な増設と情報発信に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	地域の公共施設等と連携した情報提供体制づくり（2）				
	概要				
	既存の広報媒体（社協だより・ホームページ等）とともに、ケーブルテレビほか各種メディア等、様々な情報提供ツールの活用について検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	各種情報提供ツールの有効活用（社協だより・ホームページ・ケーブルテレビ等）				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページやSNSへの閲覧数の増加（ホームページ閲覧数年間40,000件）	ホームページやSNSへの閲覧数の増加（ホームページ閲覧数年間50,000件）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
文字やレイアウトに配慮して、誰もが見やすい、わかりやすい広報誌の作成に努め、「読みたくなる魅力的な広報誌」を目指しました。ホームページやSNSでは、タイムリーな情報を掲載することを心がけ、様々な媒体を活用し、情報発信の充実を図りました。		ホームページの更新回数の増加に努めた結果、アクセス数の増加を伸ばすことができました。また、Facebookでも多くのタイムリーな情報発信を心がけた結果、閲覧数の増加に繋がりました。（ホームページ閲覧数年間41,607件）
自己評価	今後の方針	
A	世代を問わず、市民に必要な情報が必要な時に提供できるよう、情報提供体制と内容の充実に努めます。また、ケーブルテレビでは、手話通訳を取り入れるなど、様々な情報発信に積極的に取り組みます。さらに、災害などの緊急時に備えるために、情報提供の仕組みづくりに取り組み、発信の充実・強化を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	相談支援の仕組みづくり				
重点施策	② 福祉窓口の多チャンネル化				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	サービス利用につながりにくい人への支援の検討				
	概要				
サービスの利用を拒む人やサロンがあっても参加しない人が、地域で孤立しているケースも見られます。そうした人ができるだけ地域で孤立しないよう、地域福祉団体やサロン等と連携しながら、サービス利用につながりにくい人への支援を検討します。また、サロン等の場で地域住民の声を聞くため、アウトリーチに努めます。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	サービス利用支援の検討・サロンへのアウトリーチ				
指標目標 ※年度初めに設定	社協だより等で サロン情報の周 知を図る	サロン活動周知 の継続・新たな サロン活動の展 開の検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
社協だよりにサロン一覧を掲載し、サロン情報を市民に広く周知するとともに、市や地域包括支援センター、民生委員・児童委員協議会等と連携しながら情報発信を行い、サロン参加への潜在的なニーズの発掘に努めました。		実際に社協だよりをご覧になった方から2～3件の問い合わせがあり、サロンへの新規参加につなげることができました。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き社協だよりやケーブルテレビ、各種媒体等を活用しながら、サロンの周知に努めます。また、各地域のサロンに出向いて参加者からの声を聞き、潜在的な福祉ニーズを聞き取りながら、各サロンの特色を生かした様々な取組を支援するとともに、自治会や民生委員・児童委員協議会等と連携しながら、サロン参加につながっていない地域住民への働きかけを検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	生活困窮者等への支援事業の実施				
	概要				
	埼玉県内の社会福祉法人で構成する「埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」へ参画して生活困窮者支援に取り組み、制度の狭間にいる人などを対象に、「彩の国あんしんセーフティネット事業」を実施します。また、家庭や企業に食糧等の生活支援物資の提供を呼びかけ、提供食料等を生活困窮者への支援につなぐフードバンクの実施などのほか、制度の狭間にいる人への支援について、地域住民・支援関係者・福祉専門職・関係機関・団体等とともに検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	彩の国あんしんセーフティネット事業・フードバンクの実施・制度の狭間の支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 15件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 18件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
他制度等で支援が難しい方や制度等へつなげる間の一時的かつ緊急的な場合に、彩の国あんしんセーフティネット事業を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。また、フードバンク事業を実施し、チラシ等で企業や市民へ生活支援物資の寄附について周知を図り、寄附いただいた生活支援物資を生活困窮者へ提供しました。		彩の国あんしんセーフティネット事業相談17件 フードバンク支援324件 生活支援物資寄附127件 NPOフードバンク埼玉からの提供6回
自己評価	今後の方針	
A	社会情勢も踏まえ、生活困窮者自立支援事業や社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援の強化を図ります。また、フードバンクでの対応も増加することも予想されるため、緊急時等に速やかに必要なフードバンク支援が行えるよう、企業・団体等への働きかけや市民への寄附の周知を行っていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）【再掲】				
	概要				
	市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
埼玉県社会福祉協議会の専門職研修に参加する他に、組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、中堅以上向け研修を実施し、組織内研修の充実を図りました。		組織内研修を実施することで、相談を受ける上での基礎的事項が改めて確認でき、信頼の向上と組織の発展の双方に有効な取り組みを図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるため、OJTを導入し、即戦力として十分に能力を発揮できる職員の育成に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）【再掲】				
	概要				
	日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置はできませんでした。今後の配置に向けて、県社協が主催する養成研修等に参加しました。また、市民からの相談に応じる中で、市や地域包括支援センター等専門機関等と連携しながら、必要なサービスにつなぐ等の支援を行いました。そのほか、サロンや子ども食堂設置支援等を通じて、地域の社会資源のネットワーク化に取り組みました。	市民の生活場面に寄り添うことや、地域における活動の組織化支援を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークに関する研鑽を積むことができました。

自己評価	今後の方針
B	担当業務を通じて、市民の生活場面に寄り添いながら、職員それぞれが個別支援・地域支援におけるソーシャル・ワーク・スキルの向上に取り組み、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	① 生きづらさを抱えている人への支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	有償家事援助サービス事業の拡充				
	概要				
	高齢者や障害者など、日常生活の援助を必要とする家庭に対して、市民の協力を得て低廉な料金で家事を援助する「有償家事援助サービス」について、買い物支援や通院支援等といった利用ニーズや現状の生活課題に沿ったサービス内容等の見直しを行います。また、実費弁償費についても見直しを図り、サービス協力者の育成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	有償家事援助サービス事業のサービス内容等の見直し				
指標目標 ※年度初めに設定	市内専門職・県内他社協を対象にアンケート調査実施	新事業移行に向けた準備			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市内居宅介護支援事業所と県内市町社協を対象に行ったアンケート調査、及び本事業の協力員との意見交換をもとに、支援内容の拡大や時間単位の変更、及び単価の改訂等、事業の見直しについて検討しました。また、事業を円滑に転換するため、市や関係機関（市地域福祉課ほか・シルバー人材センター等）を対象に、事業説明及び意見交換を行いました。		市や関係機関の協力を得ながら、検討した事業の見直し（案）への移行スケジュールを定めることができました。
自己評価	今後の方針	
A	有償家事援助サービスの利用者・協力員に事業説明を行い、事業の見直しにあたっては全ての利用者を対象に再アセスメント調査を行います。また、新しい事業内容の周知のためチラシや社協だより等で、市民のみなさまや関係機関等への情報発信に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	② 権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	福祉サービス利用援助事業の推進				
	概要				
	県社協より受託している福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっど）の普及・利用促進に努め、利用件数増を目指します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	日常生活自立支援事業の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	福祉サービス利用援助事業利用件数（12件）	福祉サービス利用援助事業利用件数（15件）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
ホームページや社協だよりで事業の周知を図りました。本人から利用の意思がある場合、訪問による事業説明等を行い、スムーズな利用契約につなげる支援をしました。		利用件数12件（新規契約4件） 本人、家族からの他に施設職員、介護支援専門員等の関係者からの相談がありました。
自己評価	今後の方針	
A	ホームページや社協だよりで事業の周知を図るとともに、施設等関係機関への制度周知を図ります。また、市の自立相談支援機関等との連携を図り、対象者の把握に努め、必要な方を利用へつなげます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	② 権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	法人成年後見事業の実施				
	概要				
社協の法人成年後見事業は、成年後見の市長申し立てにも対応しています。司法分野等と連携、協力することにより、被後見人が安心して生活できるように積極的に法人成年後見活動を行います。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	法人成年後見事業の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	成年後見人等受 任件数の増 受任件数3件	成年後見人等受 任件数の増 受任件数4件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
市長申し立て案件で3件（後見類型2件、保佐類型1件）受任し、被後見人等の身上監護と金銭管理を行うことで、本人に不利益が生じないようにご本人の権利を守る支援を行いました。	4件受任をしていましたが、被後見人死亡のため1件減少となりました。家族と疎遠だったため死後の事務まで行いました。新規受任増加には至りませんでした。広報での周知や職員が研修等に積極的に参加し、スキルアップを図ることができました。
自己評価	今後の方針
A	受任件数増加に向け、受任体制の強化について検討するとともに、社協で行っている福祉サービス利用援助事業利用者の成年後見制度利用への移行についても検討していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	② 権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	権利擁護人材の発掘・育成				
	概要				
	市と連携して、権利擁護人材の発掘・育成に努めます。地域のNPO 団体と協力して、権利擁護人材の活動を支援します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	権利擁護人材の発掘・育成				
指標目標 ※年度初めに設定	市民後見人養成 講座参加者15名	法人向け後見人 養成講座参加者 15名			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市からの委託に基づき、市民後見人養成研修(基礎研修)を全10回開催、市民後見人養成研修(フォローアップ研修)を全4回開催し、権利擁護人材の発掘・育成に努めました。また、成年後見相談の相談員のスキルアップを目的とする研修会を開催しました。		市民後見人養成研修(基礎研修)受講者3名 市民後見人養成研修(フォローアップ研修)受講者19名 成年後見相談員研修(相談員7名を対象に1回開催)
自己評価	今後の方針	
A	市からの委託に基づき、市民後見人や法人後見の担い手を養成する研修等の開催を継続的に行い、権利擁護人材の育成に努めます。また、受講後の活動への支援等についても市と連携し検討をしていくとともに、後見に関連する地域のNPO法人等とも連携を図る機会を設けていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	② 権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	成年後見制度の普及啓発				
	概要				
	広報、ホームページ等により成年後見制度の普及啓発に取り組みます。地域のNPO 法人と協力して、成年後見制度の普及に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	成年後見制度の普及啓発				
指標目標 ※年度初めに設定	成年後見制度の 広報等による啓 発	成年後見制度の 広報等による啓 発 地域のNPO法人 との情報交換会			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
権利擁護と成年後見制度の普及を目的に、広報による啓発を行いました。また、市からの委託により成年後見相談を開設し、市民からの相談の機会を設けました。成年後見制度についての周知も、市広報及び社協だよりで行いました。		市広報及び社協だより（毎戸配布）による普及啓発を行い、社協だよりでは特集記事を掲載しました。 成年後見相談5件
自己評価	今後の方針	
A	成年後見相談を必要とする利用者に向け、市広報及び社協だよりやチラシ等による継続的な市民への周知とともに、医療・福祉・金融・不動産等の関係する機関からの相談も受けられる体制の構築を目指します。 また、地域のNPO法人との情報交換の機会も検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	② 権利擁護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	制度の狭間の人への支援				
	概要				
	制度の狭間にいる人への支援について、地域住民・支援関係者・福祉専門職・関係機関・団体等と連携して取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	制度の狭間の人への支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援事業新規相談受付件数 144件 (国の指標による)	自立相談支援事業新規相談受付件数 144件 (国の指標による)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
令和元年度より自立相談支援事業業務を市より受託し、生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する相談支援を行いました。複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、相談者の必要に応じた包括的な支援を行い相談者の自立の促進を図りました。		新規相談受付件数319件 指標目標件数を上回る相談受付を行いました。
自己評価	今後の方針	
A	課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、関係機関と連携し相談者の必要に応じた包括的な支援を行い相談者の自立の促進を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	③ 更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）【再掲】				
	概要				
	市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
埼玉県社会福祉協議会の専門職研修に参加する他に、組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、中堅以上向け研修を実施し、組織内研修の充実を図りました。		組織内研修を実施することで、相談を受ける上での基礎的事項が改めて確認でき、信頼の向上と組織の発展の双方に有効な取り組みを図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるため、OJTを導入し、即戦力として十分に能力を発揮できる職員の育成に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	③ 更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）【再掲】				
	概要				
	日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置はできませんでした。が、今後の配置に向けて、県社協が主催する養成研修等に参加しました。また、市民からの相談に応じる中で、市や地域包括支援センター等専門機関等と連携しながら、必要なサービスにつなぐ等の支援を行いました。そのほか、サロンや子ども食堂設置支援等を通じて、地域の社会資源のネットワーク化に取り組みました。		市民の生活場面に寄り添うことや、地域における活動の組織化支援を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークに関する研鑽を積むことができました。
自己評価	今後の方針	
B	担当業務を通じて、市民の生活場面に寄り添いながら、職員それぞれが個別支援・地域支援におけるソーシャル・ワーク・スキルの向上に取り組み、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	③ 更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	更生保護団体との連携				
	概要				
	保護司会、更生保護女性会との連携を強化し、更生保護ボランティア団体と協力することにより、刑余者への支援に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	更生保護団体と連携し、刑余者の社会復帰に向けた支援に取り組む。				
指標目標 ※年度初めに設定	更生保護団体との連携強化	更生保護団体と連携強化し、自立相談支援事業の周知を図る。			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
職員が保護司会の会議に出席し、生活困窮者自立相談支援事業の事業概要を説明し、保護司の方々に制度の案内と協力や連携のお願いをしました。		職員が保護司会の会議に出席し、制度の案内と協力や連携について依頼することができました。
自己評価	今後の方針	
A	保護司会等の会議等の場に参加させていただくとともに、更生保護団体との連絡体制等の整備についても検討をしていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	③ 更生保護の推進				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	更生保護運動への協力				
	概要				
	社会を明るくする運動や更生保護関係の講演会、研修会等への参加について、市民に呼びかけ、更生保護運動に協力します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	更生保護運動への協力				
指標目標 ※年度初めに設定	運動や講演会等への参加	運動や講演会等への参加			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
社会を明るくする運動に職員が参加し、啓発物品の配付をするなど、啓発活動に協力しました。更生保護関係の講演会に代表者1名が参加しました。		社会を明るくする運動に職員が参加し、啓発活動を行うことにより、更生保護事業への理解を深めることができました。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き、社会を明るくする運動に参加し、運動の周知や啓発物品の配付により啓発活動に協力していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備（1）				
	概要				
	災害発生時に想定される様々な対応について、「災害対応マニュアル」の策定（見直し）を行います。また、災害時に備えるため市及び関係機関・団体と協議する場を設けるとともに、日頃からの交流促進に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	災害対応マニュアルの策定		災害対応マニュアルの点検		
指標目標 ※年度初めに設定	市関係課と協議開始・災害対応マニュアル（案）の策定	市関係課との協議継続・災害対応マニュアル（案）の検証			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
令和元年台風第19号への対応では、関係機関との情報共有に課題が残り、市関係課（危機管理課ほか）と、災害時の対応に関する協議を行い災害対策本部と社協との連携について確認を行いました。また、災害対応マニュアル（災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル案）を策定しました。	市関係課と協議を行い、少しずつ意識の共有を図ることができました。また、災害対応マニュアル案を策定し、職員で共有を図りました。

自己評価	今後の方針
A	今年度策定した災害対応マニュアル案をもとに、市関係課（市民活動推進課）と協議を行います。また、職員対象の訓練、ボランティア団体や市民のみなさまとの訓練等を積み重ねながら、マニュアルの点検や見直しを行い、大規模災害等に備えます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	災害ボランティアセンターの設置・運営体制の整備（2）				
	概要				
	災害対応マニュアルに基づき、有事の際に職員がみな役割を認識して必要な行動がとれるよう、定期的に「災害ボランティアセンター運営訓練」等を実施します。センターの運営には社協職員だけでなく市職員・ボランティア等の協力も必要なことから、住民等に広く参加を呼びかけます。また、有事の際に連携が取れるよう、日頃から他市町村社協との交流や情報交換に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	災害ボランティアセンター運営訓練の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	社協職員対象運営訓練の実施	社協職員対象運営訓練の実施			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
マニュアル案作成段階のため運営訓練は実施できませんでしたが、県内外で発生した大規模災害により設置された災害ボランティアセンターの運営支援のため、埼玉県社協との協定に基づき職員を派遣し、実際の運営に携わりました。		
自己評価	今後の方針	
C	マニュアル案を基に、他市町災害ボランティアセンター支援経験のある職員が中心となり、全職員対象の災害ボランティアセンター運営訓練を実施します。実際の活動をイメージしながらマニュアル記載内容を点検し、職員間での意識共有に取り組みます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	災害ボランティアの養成				
	概要				
	社協ボランティアセンターの災害ボランティア育成を目的として、定期的に「災害ボランティア養成講座」を開催し、災害ボランティアの養成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	災害ボランティア養成講座の開催(年1回)				
指標目標 ※年度初めに設定	セミナー開催 (150人参加)	養成講座開催 (参加者30名)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>広く市民を対象に、減災セミナー「いま求められる地域防災力」を市地域福祉課と共催しました。(一社)ピースポート災害支援センターの職員を講師に迎え、被災地の実際の状況をはじめ、災害を切り口にした様々な福祉活動にも触れながら、災害ボランティアについての周知と募集を呼びかけました。</p>		<p>民生委員・児童委員を中心に104名の来場がありました(うち5名がボランティア登録)。広い視点で自分たちにできることを考えてもらうきっかけとなりました。</p>
自己評価	今後の方針	
B	<p>新規登録者の発掘を目的としたボランティア養成講座の開催や、登録者へのフォローアップの機会等を検討します。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	横断的なサービスづくり				
重点施策	④ 災害時における支援体制の構築				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	被災者支援のための相談支援体制の整備				
	概要				
	市及び関係機関・団体と連携し、災害時に専門的な相談支援を行うための体制づくりを検討していきます。また、災害ボランティアセンターを開設した場合に、迅速に情報提供が行えるように各種団体との連携を強化します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	準備期間	関係団体等協議の場をつくる			
指標目標 ※年度初めに設定	市関係課等と協議を行い、方向性を検討する。	市内の災害関連ボランティア団体等と協議の場をつくる。			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市関係課（危機管理課ほか）と令和元年台風第19号対応における課題や、地域で火災が発生した場合の対応等について協議を行いました。また、災害対応マニュアルの策定等にあたり、相互に連携することを確認しました。		市関係課との話し合いにより、災害対応時の情報共有等における課題について、確認することができました。
自己評価	今後の方針	
B	市関係課と今後さらに協議を進めて行くほか、市内の災害支援に関わるボランティア団体等に呼びかけ、災害時における連携体制について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催（1）				
	概要				
	障害についての理解、様々な障害の特性への理解を深めることを目的とした市民向けの研修会を設けます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	研修会の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	講座・イベント 等の開催（5 件）	講座・イベント 等の開催（8 件）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
障害者支援に関する講座やイベントを開催して、あらゆる世代から多数の市民に参加いただきました。 【講座等名】手話奉仕員養成講座（基礎講座）・高校生ボランティアイベント（障害平等研修）・小中学生ボランティアスクール・共学支援プログラム（スキルアップ講座・支援ボランティア養成講座・フォローアップ講座）・障がい者作品展・ふくしフェスタ		年間を通じて8つの講座・イベントを開催し、市民434名の参加がありました。うち3つの講座・イベントが、小・中学生や高校生等の若者を対象とした内容でした。
自己評価	今後の方針	
A	思いやりのあるまちづくりを目指して、障害について正しい理解を得られ、かつ市民が参加しやすいイベント・講座等の開催を継続していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	障害への理解を深めるための市民向け研修会等の開催（2）				
	概要				
	広報等でユニバーサルデザインやバリアフリー、障害者差別解消法等の周知を行い、市民の福祉意識の向上へつなげます。また、社協業務においても合理的配慮の提供に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	広報等での周知				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページ閲覧数の増加（年間40,000件）	ホームページ閲覧数の増加（年間50,000件）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>障害のある人をはじめ、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、ノーマライゼーションの理念に基づき、共学支援プログラムや障害平等研修を実施するなど、心のバリアフリーを推進しました。また、ユニバーサルデザインに配慮した広報活動やホームページの充実を図り、情報のバリアフリーの推進にも取り組みました。</p>		<p>共学支援プログラムなど、様々な講座開催を通じて、障害に対する理解の促進に努めました。また、ホームページ等でユニバーサルデザインを使用するなど、より見やすい広報活動に心掛けました。（ホームページ閲覧数年間41,607件）</p>
自己評価	今後の方針	
A	<p>障害のある人等の人権・疾病などに関する理解を深め、心のバリアフリーを推進するために、あらゆる機会や場において、啓発・広報活動の充実を図ります。また、引き続きユニバーサルデザインに配慮した広報活動やホームページの充実を図るとともに、支援を必要とする人への情報提供体制の充実にも努め、心と情報のバリアフリー化を推進します。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	学校等と連携した福祉教育の充実				
	概要				
	体験学習だけでない心のバリアフリーを目指した福祉学習の在り方等について学校、行政、当事者等と連携し、検討実施します。併せて、研修会やプログラム集の作成等といった福祉学習を行う教職員への支援を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	教員向け研修会の実施・福祉教育プログラム集の作成		プログラム集に基づいた福祉教育の実施・検証		
指標目標 ※年度初めに設定	プログラム集の 素案作成	障害平等研修 (DET)の実 施・プログラム 集完成			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度は、教員向け研修の実施・プログラム集の作成はできませんでしたが、福祉教育推進校会議で社協事業紹介を行いました。また、プログラム集作成に向けて、市地域福祉課及び教育委員会学校教育課と話し合いを行い、作成過程にどのように学校教職員に関わっていただくのか、また具体的な内容について検討することができました。		
自己評価	今後の方針	
C	次年度は、各学校を個別に訪問して、学校教職員と今後の福祉教育に関する意見交換を行います。また、関係団体等の方々に意見を聞きながら、新たな福祉教育プログラム集の完成を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	① ユニバーサルデザインとバリアフリーのまちづくり				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	地域共生社会の実現に向けた意識の醸成				
	概要				
	地域のイベントや行事等で出前講座等といった福祉について学ぶ機会の提供を行います。住民同士が互いに助け、支え合いながら、共に生きる地域共生社会の実現に向けた意識の醸成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域における福祉教育の実施				
指標目標 ※年度初めに設定	イベント等での福祉教育機会の提供(5件)	イベント等での福祉教育機会の提供(6件)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>本会主催事業のほか、他団体からの依頼に基づき福祉教育の機会提供に努め、福祉教育ボランティアと本会職員で地域に出向き、さまざまな世代の市民に対して学習の機会を提供しました。</p> <p>【本会主催】おとなボランティアスクール・生活支援サポーター養成講座【他団体主催】キッズわくわくワーク・社会福祉の教室・シルバークフェスティバル・東日本ブラインドサッカー大会</p>		<p>地域における福祉教育の機会提供として、6つの事業で出前講座等を行いました。参加イベントでは疑似体験を中心に行い、親子連れなどあらゆる世代のみなさまに福祉について学んでもらいました。</p>
自己評価	今後の方針	
A	<p>地域のイベントに積極的に参加し、福祉教育機会の提供に努めるとともに、体験だけで終わらないよう、イベントに合わせてプログラムの内容をさらに検討していきます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	② 移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	有償家事援助サービス事業の拡充【再掲】				
	概要				
	高齢者や障害者など、日常生活の援助を必要とする家庭に対して、市民の協力を得て低廉な料金で家事を援助する「有償家事援助サービス」について、買い物支援や通院支援等といった利用ニーズや現状の生活課題に沿ったサービス内容等の見直しを行います。また、実費弁償費についても見直しを図り、サービス協力者の育成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	有償家事援助サービス事業のサービス内容等の見直し				
指標目標 ※年度初めに設定	市内専門職・県内他社協を対象にアンケート調査実施	新事業移行に向けた準備			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市内居宅介護支援事業所と県内市町社協を対象に行ったアンケート調査、及び本事業の協力員との意見交換をもとに、支援内容の拡大や時間単位の変更、及び単価の改訂等、事業の見直しについて検討しました。また、事業を円滑に転換するため、市や関係機関（市地域福祉課ほか・シルバー人材センター等）を対象に、事業説明及び意見交換を行いました。		市や関係機関の協力を得ながら、検討した事業の見直し（案）への移行スケジュールを定めることができました。
自己評価	今後の方針	
A	有償家事援助サービスの利用者・協力員に事業説明を行い、事業の見直しにあたっては全ての利用者を対象に再アセスメント調査を行います。また、新しい事業内容の周知のためチラシや社協だより等で、市民のみなさまや関係機関等への情報発信に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	② 移動の支援				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	移動支援を行う団体への育成・支援の検討				
	概要				
	高齢者や障害者等の生活課題である移動困難を抱える人への支援をインフォーマルな社会資源として行うボランティア・NPO 法人、地域活動団体等の育成や活動への支援を検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	移動支援を行う団体の育成・支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	社会福祉法人等 による移動支援 の検討	移動支援に関す る勉強会の開催			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
市から受託している第1層生活支援コーディネーター業務を通じて、生活支援体制整備事業で「移動支援」について検討し、市民とともに、社会福祉法人や企業と連携した、買い物支援にまつわる取組みを開始しました。	市内2法人・2地域で、移動（買い物）支援を開始しました。うち1地域では、11月より月2回の実施を定例化することができました。そのほか、コンビニエンスストアの移動販売を2地域で月1回実施しました。
自己評価	今後の方針
A	今後も、市から受託している業務を通じて市民とともに移動支援について検討し、市内の社会福祉法人への協力依頼や移動支援に関する勉強会等を開催することにより、移動支援の住民主体の取組みを推進していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	③ 住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	住居に関する相談への対応				
	概要				
	生活困窮等により住居の確保が困難な方に対して、関係する機関や不動産事業者等と連携し住まいの確保と安定した生活が送れるように支援を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	自立相談支援機関等との連携（窓口の案内、情報の提供・共有）				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援事業新規 相談受付 件数 144件 (国の指標による)	自立相談支援事業新規 相談受付 件数 144件 (国の指標による)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
令和元年度より自立相談支援事業業務を市から受託し、生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対し、就労その他の自立に関する相談支援を行いました。また事業利用のためのプラン作成等を通じて、住居の確保が困難な方を住居確保給付金の支給等の支援につなげました。		新規相談受付件数319件 指標目標件数を上回る相談受付を行いました。うち7件が、住居確保給付金の利用につながりました。
自己評価	今後の方針	
A	関係機関と連携し、住居の確保が困難な方に対して、引き続き住居確保給付金の支給等の必要な制度等へつなぎ、自立相談支援体制の維持に努めます。また、住居関係の市の担当課や関係機関、事業者等と連携について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	市民の生活を支える仕組みづくり				
施策細目	人にやさしい生活環境の充実				
重点施策	③ 住まいの確保				
重点事項・ 重点的取組	事業				
	空き家の福祉的利用の促進				
	概要				
	空き家になっている住宅の福祉的利用の推進を検討します。具体的には、サロンや福祉目的利用の際の公的援助等について周知・調整を図り、利用の促進に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	空き家の福祉的利用の促進				
指標目標 ※年度初めに設定	サロンの空き家活用支援・サロンと連携した空き家情報の把握	サロンの空き家活用支援・サロンと連携した空き家情報の把握			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
空き家・空き店舗を活用したサロンが市内4か所で活動しており、それらのサロン活動を支援し、税の減免等の公的支援との調整を行いました。また、社協だよりで、活動場所を探しているサロンの空き家情報の収集に協力しました。		活動場所を求めているサロンと、空き家情報の共有に努めました。また、空き家を活用した居場所づくりについて相談に応じ、子ども食堂1件が新規開設となりました。
自己評価	今後の方針	
A	サロン活動への公的支援について、市に働きかけます。活動場所を求めているサロンとの連携を継続して、地域の空き家情報の収集に努め、市等と情報を共有しながら、さらなる空き家の福祉的利活用について検討していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）【再掲】				
	概要				
	市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
埼玉県社会福祉協議会の専門職研修に参加する他に、組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、中堅以上向け研修を実施し、組織内研修の充実を図りました。		組織内研修を実施することで、相談を受ける上での基礎的事項が改めて確認でき、信頼の向上と組織の発展の双方に有効な取り組みを図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるため、OJTを導入し、即戦力として十分に能力を発揮できる職員の育成に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）【再掲】				
重点事項・ 重点的取組	概要				
	日常生活圏域ごとにCSW を配置して、アウトリーチするための相談体制を整えます。CSW は、個別支援とともに、個別支援を通じた地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置はできませんでした。今後の配置に向けて、県社協が主催する養成研修等に参加しました。また、市民からの相談に応じる中で、市や地域包括支援センター等専門機関等と連携しながら、必要なサービスにつなぐ等の支援を行いました。そのほか、サロンや子ども食堂設置支援等を通じて、地域の社会資源のネットワーク化に取り組みました。		市民の生活場面に寄り添うことや、地域における活動の組織化支援を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークに関する研鑽を積むことができました。
自己評価	今後の方針	
B	担当業務を通じて、市民の生活場面に寄り添いながら、職員それぞれが個別支援・地域支援におけるソーシャル・ワーク・スキルの向上に取り組み、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	小地域における住民の福祉活動の組織と活動拠点の整備				
	概要				
	小学校区等の小地域ごとに、住民主体の相談支援活動のための組織づくりについて、地域住民に働きかけを行います。取り組みが可能な地域から「モデル地区」として順次住民組織の体制づくりを開始して、社協のCSW が取組をサポートします。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	調査研究・モデル地区の募集			小地域福祉モデル事業開始	
指標目標 ※年度初めに設定	自治会・サロン 等地縁団体との 連携強化	生活支援体制整備 協議体との協 働推進とモデル 地区募集準備			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
自治会エリア等を対象に、サロン活動や会食事業による交流、自治会の見守り活動者による地域見守り活動の支援等を行いました。そのほか、市から受託している生活支援コーディネーター業務を通じて、生活支援体制整備事業における第1層及び第2層協議体で、市域及び日常生活圏域（概ね中学校区）を対象エリアとする小地域における住民主体の取り組みが始まりました。	サロン活動や地域見守り活動について、自治会における福祉活動として理解が深まっています。また、協議体として、地域課題を住民目線で考えていただくことができました。

自己評価	今後の方針
A	小地域における住民主体の福祉活動について、具体的な展開方法・モデル地域の選定方法等について検討します。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	当事者組織の支援				
	概要				
共通の課題を抱えた対等なメンバー同士による相互援助活動や当事者組織づくりを支援し、住民相互の悩みごと解消や支え合い体制の整備に努めます。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	当事者組織活動の支援				
指標目標 ※年度初めに設定	当事者の組織化支援と集いの場の確保	当事者の組織化支援と集いの場の確保			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
福祉サロンの運営支援を通じて、当事者同士の集いの場づくりにつなげました。また、障害児・者家族等による当事者団体の運営上の相談に応じ、活動場所や活動内容等に関する情報提供を行いました。		介護に悩む方や障害者、社会に参加しにくい若者等、福祉サロン活動（市内7か所）を通して、当事者同士の相互交流が深まりました。
自己評価	今後の方針	
A	福祉サロンの運営支援等を通じて、障害のある方等、共通の悩みや福祉課題を抱える方やその家族とともに、交流の場づくりや当事者組織活動のさらなる活性化につなげていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	福祉関係講座受講者等の実践活動支援の検討				
重点事項・ 重点的取組	概要				
	市と連携して、認知症サポーター養成講座や市民後見人養成講座等の講座受講者が、講座内容を地域において実践していくための仕組みを検討します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	講座受講者の実践活動支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	講座受講者の実践活動支援の検討	講座受講者の実践活動支援の検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
<p>今年度については講座内容を地域において実践していくための仕組みの検討はできませんでしたが、市からの受託により市民後見人養成研修(基礎研修、フォローアップ研修)を開催し、受講後、地域で権利擁護事業を実施しているNPO法人等の活動を紹介しました。また、本庄西地域包括支援センター本庄市社会福祉協議会では市民を対象とした認知症サポーター養成講座を実施し、理解を深めました。</p>		
自己評価	今後の方針	
C	<p>実践活動につながる人材発掘、育成を目的とした講座の開催を引き続き行うとともに、受講後の活動の場づくりやコーディネート機能等について、市と連携しながら検討を進めていきます。</p>	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	小地域における福祉活動の推進				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	サロン活動の推進				
	概要				
地域におけるサロン活動の立ち上げ支援・運営支援等を通じて、サロン活動の活性化とともに、サロン数の一層の増加を目指します。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	サロン活動の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	サロン数の増加 (2か所増)	サロン未設置地 域への働きか け・サロン運営 支援(2か所 増)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
高齢者や障害者等の地域住民が集まる身近な地域を拠点としたサロン活動の取組みを推進するため、設置支援・運営支援等を行いました。また、地域住民にサロンの設置を働きかけるとともに、既存のサロンに対しては出前講座やボランティア紹介等のほか、交流会開催や助成金の情報提供などを行いました。	地域を基盤とするふれあいいいきサロン1か所と、対象地域を限定しない福祉サロン1か所、合計2サロンの新規登録がありました。県社協の基金に14サロンから応募があり、財源確保(事業費等への活用)を支援しました。
自己評価	今後の方針
A	本庄市内のサロン未設置自治会を中心に、地域の自治会長や民生委員・児童委員等にサロン設置を働きかけます。また、既存のサロンの活動財源確保のため、参加費の徴収等により参加者意識を高めてもらう方法を提案するなど、住民主体の促進について働きかけを行います。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	多職種連携の推進				
	概要				
	複合ニーズ世帯の早期発見・早期解決や「制度の狭間の問題」に適切に対応するため、地域における多職種のネットワーク化を推進し、日々の相談援助活動をより円滑に行うための環境整備に努めます。多職種連携セミナーを開催し、講演や事例報告、グループワーク等を通じて、多職種が互いの業務を理解しながら連携を促進できるための機会提供に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	多職種連携の推進 多職種連携セミナーの開催				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援調整会議20回開催	自立相談支援調整会議23回開催 多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ把握・検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
市からの委託により、複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、相談者の必要に応じた包括的な自立相談支援事業を多職種と連携し行う中で、関係する多職種の参加による自立相談支援調整会議を開催しました。会議の中で、支援方針等を共有・決定し、支援につなげました。	自立相談支援調整会議23回開催。 プラン作成した101件のうち、延べ68件を就労自立、継続支援を行い、制度の狭間に陥らないよう支援しました。

自己評価	今後の方針
A	引き続き自立相談支援事業を実施する中で、自立相談支援調整会議を開催し、多職種（ハローワーク、障害者就労支援センター、病院等）との連携を強化します。また、多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ等を把握し、実施に向け検討していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	社会福祉法人相互の連携体制づくり				
	概要				
	彩の国あんしんセーフティネット事業を推進して、生活困窮者支援の充実を図ります。また、これまで構築してきたネットワークを活かし、市内の社会福祉法人相互の連携体制づくりに努めます。さらに、市内社会福祉法人の地域貢献活動をサポートします。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	彩の国あんしんセーフティネット事業の推進 社会福祉法人の連携体制づくり				
指標目標 ※年度初めに設定	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 15件	彩の国あんしんセーフティネット事業相談件数 18件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
他制度等で支援が難しい方や制度等へつなげる間の一時的かつ緊急的な場合に、彩の国あんしんセーフティネット事業を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。また、社会福祉法人による公益的な取組として、社協事業にも一部協力いただいています。		彩の国あんしんセーフティネット事業相談17件 社会貢献活動としての社協事業への協力1件（配食サービス）
自己評価	今後の方針	
A	彩の国あんしんセーフティネット事業を継続し、社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援の強化に努めます。加えて、同事業に取り組む社会福祉法人の増加を図ります。また、社会福祉法人による公益的な取組と社協事業との連携の可能性について協議していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	人と人とのつながりづくり				
施策細目	関係機関・団体等との連携強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	職能団体等の組織化支援の検討				
	概要				
地域の福祉専門職等の活動支援・連携強化を目的として、市内職能団体・業種団体等の組織化支援を検討していきます。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	職能団体等の組織化支援の検討				
指標目標 ※年度初めに設定	職能団体等の組織化支援の検討	職能団体等の組織化支援の検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
今年度については具体的な取組はできませんでしたが、職能団体等の組織化支援について検討を行いました。	
自己評価	今後の方針
C	職能団体等の組織化支援において、社協としてできることを検討していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	学校等と連携した福祉教育の充実【再掲】				
	概要				
	体験学習だけでない心のバリアフリーを目指した福祉学習の在り方等について学校、行政、当事者等と連携し、検討実施します。併せて、研修会やプログラム集の作成等といった福祉学習を行う教職員への支援を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	教員向け研修会の実施・福祉教育プログラム集の作成		プログラム集に基づいた福祉教育の実施・検証		
指標目標 ※年度初めに設定	プログラム集の 素案作成	障害平等研修 (DET)の実 施・プログラム 集完成			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
今年度は、教員向け研修の実施・プログラム集の作成はできませんでしたが、福祉教育推進校会議で社協事業紹介を行いました。また、プログラム集作成に向けて、市地域福祉課及び教育委員会学校教育課と話し合いを行い、作成過程にどのように学校教職員に関わっていただくのか、また具体的な内容について検討することができました。		
自己評価	今後の方針	
C	次年度は、各学校を個別に訪問して、学校教職員と今後の福祉教育に関する意見交換を行います。また、関係団体等の方々に意見を聞きながら、新たな福祉教育プログラム集の完成を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	学生の福祉意識の醸成に向けた取り組み				
	概要				
	学生のボランティア活動への参加機会を設け、周知等に努めます。福祉についての学びや地域課題への気づきに導くボランティアメニューの実施を行います。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	ボランティア体験プログラムの実施				
指標目標 ※年度初めに設定	ボランティア 体験プログラム メニュー8件	ボランティア 体験プログラム メニュー8件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
夏のボランティア体験プログラムとして、福祉体験6メニュー・施設体験2メニュー（合計8メニュー）を行い、福祉学習の機会の提供に努めました。大勢の参加がありましたが、施設体験メニューでは、一部参加者に消極的な人も見受けられたと、施設職員の方から指摘がありました。積極的な参加を引き出すための工夫が必要であることが分かりました。		福祉体験メニューは67名の参加があり、小・中学生とボランティアの高校生に車いす等の使い方などを学んでもらい、施設体験メニューは中学生から大学生の生徒・学生87名が参加し、福祉意識の醸成につなげることができました。
自己評価	今後の方針	
A	福祉体験メニューでは、体験の方法や内容を工夫しながら、質の高い活動の提供に努めます。 施設体験メニューでは、参加者にボランティア活動の意義を深く学びながら、積極性を引き出すための工夫をしていきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	福祉学習の充実				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	福祉教育ボランティアの育成				
	概要				
	学校や地域で福祉教育を推進する「福祉教育ボランティア」の養成研修やフォローアップ研修等を開催し、福祉教育ボランティアの増員を目指します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	福祉教育ボランティアの育成				
指標目標 ※年度初めに設定	福祉教育ボランティア会議 (6回)	ボランティア会議 (6回) フォローアップ講座 (1回)			

＜令和元年度実施結果＞

具体的な取組内容	成果
隔月で福祉教育ボランティア会議を実施しました（6回／うち1回は書面会議にて実施）。また、福祉教育ボランティア自身が「おとなボランティアスクール」に講師として参加し、新規のボランティアを募集しました。また、県社協主催の「福祉教育推進者研修」に参加しました。	会議の年間開催を通じて、課題を整理・改善しながら、よりよい活動につなげることができました。新しい福祉教育ボランティアの登録はありませんでした。 ・会議6回開催（うち1回書面会議） ・のべ29名参加
自己評価	今後の方針
A	福祉教育ボランティア養成講座や、フォローアップ講座などを開催し、ボランティア確保と活動内容のさらなる質の向上に努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

＜備考＞

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	多様なニーズに対応したボランティアの育成				
重点事項・ 重点的取組	概要				
	地域の生活課題やニーズを把握し、ボランティアを必要とする人のために、各種ボランティアの養成を行っていきます。地域で主体となり活動できるボランティアの育成を目的とした各種講座を開催し、講座参加者が具体的なボランティア活動につながるよう支援します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	各種ボランティア講座の開催				
指標目標 ※年度初めに設定	講座数7件	講座数8件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
ボランティア関連講座として7つの講座を開催し、30～70歳代と幅広い世代からの参加がありました。 【講座名】手話奉仕員養成講座・おとなボランティアスクール・ボランティア活動のためのカウンセリング講座基本&ステップアップ・共学支援プログラム事業支援ボランティア養成講座&スキルアップ講座&フォローアップ講座		7講座合わせて59名の参加がありました。参加した人のうち約3割の方が、その後、新たにボランティア活動等を始め、地域福祉人材の確保につながりました。
自己評価	今後の方針	
A	引き続き各種講座を開催して、地域に必要な人材の確保に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	ボランティアコーディネート機能の充実				
	概要				
	市や地域団体等と連携し、地域での生活課題や埋もれているボランティアニーズの把握に努め、個別的なニーズへの対応を充実させていきます。また、様々な媒体を活用し、ボランティア情報の発信を積極的に行い、ボランティアニーズとボランティア活動のマッチング件数を増やします。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	個別ボランティアニーズの把握 ボランティアコーディネートにおけるマッチング件数の増加				
指標目標 ※年度初めに設定	地域の情報収集・ボランティア情報発信方法の検討（マッチング80件）	新たな媒体の活用による情報収集・発信（マッチング90件）			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
新たに民生委員・児童委員協議会定例会や、ふくしPRコーナー設置施設へボランティア情報紙を配布し、ボランティアセンターの周知を行いました。また、地域ケア個別会議等に参加し、個別的なニーズの把握とボランティアセンターの機能周知に努めました。	情報紙の発行部数は増加しているものの、募集時期等の問題から個別ニーズのマッチングには向かないことが分かりました。一方で、専門職や関係機関による情報発信力と拡散力の強さを感じました。 ・マッチング84件
自己評価	今後の方針
B	ホームページ活用の充実を図るとともに、情報紙の発行時期等について見直しを行います。また、専門職・関係機関等にボランティアセンターの周知を行いながら、彼らの情報発信力・拡散力の強さを活かし、個別ニーズ把握とマッチングへのアプローチを行います。さらに、ニーズに合った様々な情報媒体の活用を検討し、個別ニーズに対応できる体制を整えていきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	地域人材の確保・育成				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	地域における福祉人材の発掘・育成				
	概要				
	地域の支え合い体制の構築に向けて、地域団体や関係機関等と連携し、小地域で活動する福祉人材を発掘・育成します。また、市と連携して、生活支援体制整備事業における生活支援サポーターの養成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	地域福祉人材の発掘 生活支援サポーターの養成				
指標目標 ※年度初めに設定	住民向けフォーラムの開催（事業の周知を図る）	サポーター養成講座受講生を対象にスキルアップ講座を開催			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
市より受託している第1層生活支援コーディネーター業務を通じて「地域づくりフォーラム」を開催し、地域住民に対して「支え合い」についての働きかけを行いました。また、生活支援サポーター養成講座を全4回実施しました（受講21名）。		地域づくりフォーラムに市民283名が参加して、地域の支え合いに関する啓発を行うことができました。養成講座には21名が参加して、そのうち生活支援サポーターとして15名の登録がありました。
自己評価	今後の方針	
A	平成28年度から令和元年度（4年間）の生活支援サポーター養成講座修了者（59名）を対象に、スキルアップ講座を開催し、住民主体の支え合いサービスに繋がる支援の展開を企画していきます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	民生委員・児童委員等支援関係者の支援				
	概要				
	民生委員・児童委員と連携して、地域の見守り体制づくりに努めます。また、地域で活動する支援関係者を支援し、必要な機関等につなぎながら、地域の福祉人材の活動をサポートします。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	支援関係者の支援				
指標目標 ※年度初めに設定	高齢者見守り事業利用者数(配食315件・安否1,010件)	高齢者見守り事業利用者数(配食325件・安否1,035件)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
民生委員・児童委員活動の参考にしてもらうため、社協事業紹介ファイルを作成して全委員へ配布しました。地域の見守りが必要な世帯のうち、特に定期的な訪問等が必要な70歳以上の単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯等に対して「高齢者見守り事業」を実施して、民生委員・児童委員活動を支援しました。	高齢者見守り事業が必要と思われる世帯に対して、民生委員・児童委員から改めて声かけしていただき、利用世帯情報のほとんどを更新することができました。 【利用世帯数】配食サービス323件・高齢者世帯等安否確認事業1,028件
自己評価	今後の方針
A	利用世帯情報の更新について、新規利用希望者については随時受付するとともに、定期的に世帯情報を更新しながら、民生委員・児童委員活動を支援します。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	地域で共に生きるための人づくり				
施策細目	専門職・支援関係者の育成と支援				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	多職種連携の推進【再掲】				
	概要				
	複合ニーズ世帯の早期発見・早期解決や「制度の狭間の問題」に適切に対応するため、地域における多職種のネットワーク化を推進し、日々の相談援助活動をより円滑に行うための環境整備に努めます。多職種連携セミナーを開催し、講演や事例報告、グループワーク等を通じて、多職種が互いの業務を理解しながら連携を促進できるための機会提供に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	多職種連携の推進 多職種連携セミナーの開催				
指標目標 ※年度初めに設定	自立相談支援調整会議20回開催	自立相談支援調整会議23回開催 多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ把握・検討			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
市からの委託により、複合的な課題を抱える相談者等が「制度の狭間」に陥らないよう、相談者の必要に応じた包括的な自立相談支援事業を多職種と連携し行う中で、関係する多職種の参加による自立相談支援調整会議を開催しました。会議の中で、支援方針等を共有・決定し、支援につなげました。	自立相談支援調整会議23回開催。 プラン作成した101件のうち、延べ68件を就労自立、継続支援を行い、制度の狭間に陥らないよう支援しました。

自己評価	今後の方針
A	引き続き自立相談支援事業を実施する中で、自立相談支援調整会議を開催し、多職種（ハローワーク、障害者就労支援センター、病院等）との連携を強化します。また、多職種連携セミナー開催に向けてのニーズ等を把握し、実施に向け検討していきます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	業務・財務分析や事務局の体制強化				
	概要				
	業務・財務分析を行い、社協事業の点検・整理・見直しに取り組み、事務局職員体制の整備を行います。また、社協の発展強化計画を策定して、業務の推進を計画化します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	業務・財務分析・発展強化計画の策定			職員体制の整備	
指標目標 ※年度初めに設定	事業別実施計画表の作成	組織体制の検討・事業の効果測定等の事業評価体制の構築			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
効率的かつ効果的な事業展開を行っていくために、事業別実施計画表を作成し、課題抽出及び改善策等の提案・協議を行いました。	各事業の進捗状況を定期的に把握することにより、職員間で情報共有を図ることができました。また、当初計画の達成が困難と思われる事業については、職員間で協議を行い、課題解決に取り組みました。

自己評価	今後の方針
A	社協発展強化計画を策定するには、外部環境や社協の組織体制、事業の内容、職員等の事業推進体制、財務状況を十分把握し検討した上で策定する必要があるため、事業展開の総合的な調整や、総合的・将来的なビジョンの検討、計画的な事業執行を行うための組織管理体制の構築を検討します。さらに、多様化する社協業務には、専門知識が必要になるため、必要な人材の確保や外部監査の実施など、社協経営に必要な専門家とのネットワークづくりに努めます。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（1）【再掲】				
	概要				
	市民の日常生活上の課題への相談対応にあたり、相談支援機能を強化します。具体的には、定期的に担当職員によるケース検討や職員研修を開催し、職員個々の相談対応力の向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	生活相談支援機能の強化（定例検討会・職員研修の実施）				
指標目標 ※年度初めに設定	組織内研修の実施	組織内研修の実施・OJTの導入			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
埼玉県社会福祉協議会の専門職研修に参加する他に、組織内でも職員の資質の向上や組織力の向上を目指し、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、中堅以上向け研修を実施し、組織内研修の充実を図りました。		組織内研修を実施することで、相談を受ける上での基礎的事項が改めて確認でき、信頼の向上と組織の発展の双方に有効な取り組みを図ることができました。
自己評価	今後の方針	
A	市民の信頼と期待に応えられる職員を目指すとともに、複雑・多様化する福祉ニーズに対応できるような人材育成と専門性の向上を目指し、必要な研修体系を整理し、職員研修の充実を図ります。また、業務遂行に必要な知識や能力、技術などを身に付けるため、OJTを導入し、即戦力として十分に能力を発揮できる職員の育成に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

地域福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	相談支援機能の強化と相談体制の整備（2）【再掲】				
重点事項・ 重点的取組	概要				
	日常生活圏域（中学校区域）ごとにCSW を配置して、市民の生活課題をアウトリーチするための相談体制を整えます。また、CSW は個別支援とともに地域支援を行い、主に小学校圏域ごとに展開を想定している小地域福祉活動をサポートし、地域資源開発や住民相互の相談機能の構築に取り組みます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 （予定）	調査研究・暫定的なCSW の配置			CSW の配置	
指標目標 ※年度初めに設定	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する	担当業務を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークを実践する			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
コミュニティ・ソーシャル・ワーカーの配置はできませんでした。今後の配置に向けて、県社協が主催する養成研修等に参加しました。また、市民からの相談に応じる中で、市や地域包括支援センター等専門機関等と連携しながら、必要なサービスにつなぐ等の支援を行いました。そのほか、サロンや子ども食堂設置支援等を通じて、地域の社会資源のネットワーク化に取り組みました。		市民の生活場面に寄り添うことや、地域における活動の組織化支援を通じて、コミュニティ・ソーシャル・ワークに関する研鑽を積むことができました。
自己評価	今後の方針	
B	担当業務を通じて、市民の生活場面に寄り添いながら、職員それぞれが個別支援・地域支援におけるソーシャル・ワーク・スキルの向上に取り組み、計画期間内のコミュニティ・ソーシャル・ワーカー配置を目指します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	社会福祉協議会の認知度の向上				
	概要				
	あらゆる媒体を使って、社協の周知に努めます。また、住民向けの講演会や啓発活動に取り組むほか、地域のイベント等に積極的に参加して、社協の認知度向上に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	社協認知度向上				
指標目標 ※年度初めに設定	ホームページなどの閲覧数の増加 (ホームページ閲覧数年間40,000件)	ホームページなどの閲覧数の増加。 Twitterの開設 (ホームページ閲覧数年間50,000件)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
見やすく、分かりやすい社協だよりを目指し「読みたくなる魅力的な社協だより」の作成に努めました。また、SNSやケーブルテレビなど、様々な媒体を活用し、タイムリーな情報発信の充実に取り組み、社協へ触れる機会を増やし、本庄市社協への関心・認知度を高めるよう努めました。		ケーブルテレビでの情報発信にも積極的に取り組み、ホームページの更新やFacebookもタイムリーに情報を発信するなど、多様な媒体の活用と内容の充実に努めました。(ホームページ閲覧数年間41,607件)
自己評価	今後の方針	
A	社協の活動を「見える化・見せる化」によって、より多くの住民に理解してもらい、あらゆる世代にもっと社協を身近に感じ、興味を持ってもらえるような活動の充実を図ります。社協だよりやホームページに加え、FacebookやTwitterなどのSNSを活用するなど、広報活動を強化し、情報発信の充実に努めます。また、幅広い世代に、社協活動に積極的に参加してもらえるよう、講座やイベント等の開催には創意工夫を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	社会福祉協議会の機能強化				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	社協会員の増強				
	概要				
社協の認知度向上に取り組むとともに、地域のイベントや様々な機会を活用し、社協の「会員制度」周知とともに会員加入を呼びかけ、会員の増強に取り組めます。事業の周知とともに、安定的な会費（財源）の確保を目指します。					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	社協会員の増強				
指標目標 ※年度初めに設定	会員の増強 法人会員件数 290件	会員の増強 法人会員件数 300件			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
社協だより、ホームページ、チラシを作成し周知を図りました。また、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、団体、法人等へ協力依頼を行いました。	法人会員件数293件

自己評価	今後の方針
A	更なる会員増強のため、社協だより、ホームページ、SNSでの周知や事業等を通して関係者及び関係機関への周知を強化し、社協の認知度向上に努めます。特に法人会員の増強に努め、安定的な財源の確保を図ります。

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	会費、寄附金の確保				
	概要				
	社協の会費や寄附金等への協力を個人、団体、企業等に積極的に働きかけ、理解と協力を得ながら持続的な地域福祉財源の確保に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	寄附、会費への協力による地域福祉財源の確保				
指標目標 ※年度初めに設定	社協会費協力金額 5,570,000円 寄附協力金額 2,200,000円	社協会費協力金額 5,600,000円 寄附協力金額 2,300,000円			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
個人、団体、企業等に積極的に働きかけ、寄附金及び社協会費への協力へつながるように努めました。		社協会費協力金額：5,574,022円 寄附金協力金額：2,237,208円
自己評価	今後の方針	
A	継続的に寄附金や社協会費への協力を呼びかけるとともに、寄附文化の醸成を図ります。社協だよりやホームページ、SNS等での周知や地域イベントや様々な機会を活用し、周知を行い、協力件数の増強に努めます。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	事業の透明化				
	概要				
	社協の事業の透明性を高めて、理解と信用を得ることで社協会費の収入増を目指します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	事業内容の公開				
指標目標 ※年度初めに設定	社協会費の増加 (5,570,000 円)	社協会費の増加 (5,600,000 円)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
地域福祉推進の担い手としてふさわしい事業を確実、効率的かつ適正に行うため、福祉サービスの質の向上及び情報公開等による事業経営の透明性の確保に努めるとともに、会員募集を積極的に行いました。		社会福祉法人の電子開示システムにより財務諸表等を定められた期日までに申請・公表を行うとともに、ホームページでの公表も積極的に行ったことで、会員増強につながりました。(令和元年度5,574,022円)
自己評価	今後の方針	
A	社会福祉法人制度改革の推進のため、社協経営組織のガバナンスの強化、社協事業運営の透明性の向上及び財務関係の適正かつ公正な支出管理を図り、ホームページ等での情報公開を積極的に努めます。また、事業内容の公平性及び透明性の確保に努め、より効率的かつ適正な事業実施を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	寄附意識の醸成				
	概要				
	社協だよりやホームページ等を通じて、寄附意識の向上や支え合い意識の増進に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	寄附に関する広報活動				
指標目標 ※年度初めに設定	寄附の機会及び 情報の提供(寄附 協力額 2,200,000 円)	寄附の機会及び 情報の提供(寄附 協力額 2,300,000 円)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
寄附者の功績をたたえ、社協だより等の広報誌に掲載するとともに、多額寄附者には、顕彰要綱に沿い、感謝状を贈呈するなど、意識の醸成を図りました。また、寄附に係る税控除の案内など、広く寄附の有効性について、地域住民に周知を行いました。		社協だよりをはじめとした、多様な媒体を活用して、積極的な周知活動を行ったことにより、多くのご協力を得ることができました。(令和元年度2,237,208円)
自己評価	今後の方針	
A	地域福祉活動の原資となる寄附文化を醸成する上で、地域ニーズを勘案し、より地域に根ざした事業や活動支援を行い、地域住民が寄附の活用が目に見え、寄附者にとって実感できるような取り組みになるよう努めます。また、その取り組みを周知し、「寄附の見える化」ができるように情報の発信についても強化を行います。多様な媒体を活用し、広く寄附の有効性について周知を図ります。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

庶務係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	基金の適正活用				
	概要				
	基金を適正に活用し、ボランティア支援や社会福祉事業を推進します。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	基金の活用				
指標目標 ※年度初めに設定	活用方法の検討	活用方法の検討 及び実施			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容		成果
基金及び積立金規程に基づき、基金や積立金の保有目的及び保有金額の確認を行いました。また、事業計画に沿った基金の活用の検討を行いました。		ボランティア活動に対して、毎年有岡基金の活用を図っておりますが、新たに災害等緊急時に対する運営費に対して地域福祉活動基金の活用を図る計画を策定しました。
自己評価	今後の方針	
A	基金や積立金の保有目的及び保有金額を明確にするとともに、地域福祉に関する取り組みの充実に向けて活用を行います。また、活動内容や実績について適切な情報発信を行い、その透明性を確保します。	

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》

ふくしの杜ほんじょうプラン21 進捗管理シート

担当係

社会福祉係

基本戦略	計画推進体制の発展・強化				
施策細目	地域福祉財源の確保				
重点施策					
重点事項・ 重点的取組	事業				
	共同募金運動の推進				
	概要				
	埼玉県共同募金会本庄市支会事務局として、自治会連合会や民生委員・児童委員協議会、地域の各種団体、企業等の理解と協力を得ながら「赤い羽根共同募金運動」「歳末たすけあい運動」の推進に取り組みます。これら募金活動を通じて、住民の寄附意識の普及と寄附文化の醸成に努めます。				
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年次計画 (予定)	共同募金運動の推進				
指標目標 ※年度初めに設定	目標額の達成 (7,640,000円)	目標額の達成 (7,640,000円)			

<令和元年度実施結果>

具体的な取組内容	成果
<p>社協だよりで赤い羽根共同募金活動の周知を図り、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人、福祉施設等へ募金の協力を依頼しました。また、Facebookや社協だより等で街頭募金の実施を周知しました。街頭募金については埼玉県弘済会児玉郡支部、本庄市児玉町更生保護女性会、児玉中学校生徒会の協力を得て、本庄駅及びスーパーマーケットで合計3回にわたり募金活動を行いました。そのほか、赤い羽根自動販売機の周知を図りました。</p>	<p>目標額：7,640,000円に対して 実績額：7,977,794円（104.4%）</p>

自己評価	今後の方針
A	<p>共同募金目標額の約8割を占める戸別募金への協力が厳しいなか、法人募金や職域募金の強化を目指し、新規協力法人の開拓を目指します。また、赤い羽根自動販売機の周知を図り、設置数増を目指します。</p>

A達成 B未達成 C検討中 D中止

《備考》